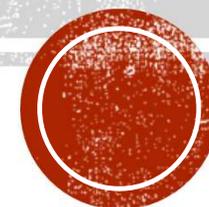


在日朝鮮人 ~歴史と現在~

岩波新書

文京洙 水野直樹



210781136 木下小夏

第一章 定着化と二世の誕生

i .併合前の朝鮮人労働者

“在日朝鮮人” = 明治時代以降の渡航人

1897年、初の朝鮮人労働者の渡来

主に都市から離れた山間部で仕事に従事

→一般の日本人の目に映ることはほぼない

初めは働きぶりを高く評価→次第に“怠惰・乱暴”へ



第一章 定着化と二世の誕生

ii .1910年代の在日朝鮮人

ア.在日朝鮮人→日本国籍を持つ “**帝国臣民**”

but...**日本人とは異なる処遇**（戸籍で区別）

イ.第一次世界大戦により日本の工業の急成長

→**朝鮮人労働者**の増加

ウ.**朝鮮侵略に抗議する留学生**の増加



第一章 定着化と二世の誕生

- iii. 関東大震災と朝鮮人虐殺
大火災の中で根拠のないデマ
→多くの朝鮮人虐殺



日本人は朝鮮人を危険な存在として警戒



第一章 定着化と二世の誕生

iv. 植民地支配と人口流出のメカニズム

朝鮮からの渡航者の増加原因

ア. 朝鮮現地の経済的状況の変化

イ. 日本語、日本の情報、働き口の獲得

日本は渡航阻止の措置 → 渡航者の減少



第一章 定着化と二世の誕生

v. 定着化と集住地区の形成

ア. 河川敷・湿地が集住地区へ

→ 朝鮮の生活様式、文化の維持

日本人からの“猥雑・不潔”という目

イ. 家族形態の増加 → 二世の増加



第二章 戦後在日朝鮮人社会の形成

i .戦後在日朝鮮人の出発

日本人：意気消沈 朝鮮人：解放による活気
祖国を目指す朝鮮人の急増

but...朝鮮半島で米ソの争い

→帰国した朝鮮人の**逆流**



第二章 戦後在日朝鮮人社会の形成

ii . 占領政策の転換

朝連：敗戦下の日本に“解放国民”を要求

民族教育を重視 → 民族学校の設立

but...当初は容認

次期に占領軍主導で強行鎮圧



第二章 戦後在日朝鮮人社会の形成

iii. 在日朝鮮人運動の転換と帰国運動

戦後日本：“一民族一国家”を目指す

→朝鮮人側も強い志向

ア.朝鮮人の本国への帰属重視

イ.帰国運動の劇的な高揚



第三章 二世たちの模索

i . 在日朝鮮人の変容

ア. 戦後二十年後でも変わらぬ差別・同化への圧力

イ. 様々な問いの前に立たされ続け精神的な苦痛

ウ. 大阪の朝鮮市場のすたれ



第三章 二世たちの模索

ii. 二世たちの挑戦

ア. 在日の戦後世代

生活者としての地域社会への参画

イ. 日本で生まれ育った二世

日本への定住を希望

but... 帰化の意思なし



第四章 グローバル化の中の在日朝鮮人

i .多民族化する日本社会

ア.高度経済成長期：“グローバル化”

イ.在日朝鮮人は変わらず“異物・部外者”

→同化か異化かの二者択一の生

ウ.帰化の増大、日本人との国際結婚の増加

→オールドカマーの減少



第四章 グローバル化の中の在日朝鮮人

i . 多民族化する日本社会

オールドカマー

朝鮮国籍の特別永住者

ニューカマー

ソウル五輪以降の1989年に韓国で海外渡航が自由化されて以降の日本への渡航者



第四章 グローバル化の中の在日朝鮮人

i. 多民族化する日本社会

エ. 第一次韓国ブーム

コリアタウンを中心に慣習や文化を保持

オ. ニューカマー > オールドカマー

在日朝鮮人の意味の再問



第四章 グローバル化の中の在日朝鮮人

ii. “国民論理”を越えて

ア. オールドカマーの国籍の選択権の付与

イ. 血統主義・単一国家主義の崩落



<まとめ>



血統主義・単一国家主義

→国民、国籍による囲い込みや排除、
切り分けの支持

それらの崩落

= 在日朝鮮人のあり方に新しい可能性を明示

